

令和6年度 学校関係者評価委員会資料

内子町立五十崎小学校

- 実施期日 (前期) アンケート：令和6年7月・評価委員会：令和6年9月
(後期) アンケート：令和6年12月・評価委員会：令和7年2月 ※書面開催
- 対象 保護者(60名)、児童(81名)、教職員(13名)
- 学校教育目標 ふるさとを愛し、たくましく生きる五十崎の子を育てる
- 集計と考察
評価結果(平均ポイント)とは、アンケート調査の回答を「A:そう思う」4点、「B:だいたいそう思う」3点、「C:あまり思わない」2点、「D:思わない」1点として集計したもので、満点は4点になる。なお、「分からない」については除外している。
(昨年度後期と今年度前期の平均ポイントも記載している。)

項目	番号	評価者	質 問 項 目	自己評価 平均ポイント			R6 考察及び改善方策	学校関係者評価(前期)	
				R6後期	R6前期	R5後期		評価委員会からの意見・要望等	
1 確かな学力(学習指導)	①	児童	あなたは、学校の授業が、よく分かりますか。	3.6	3.6	3.5	○ 友達と関わることの楽しさを味わうための取組を、各学級実践してきた。自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりするためには、どう相手と関われば良いか意識することで、学習に向かう態度にも良い影響が現れてきたのではないかと思います。	A ・ B ・ C	※A・B・Cを、3・2・1として評価 2.5(前期) 2.5(後期)
		保護者	お子さんは、基礎的・基本的な学力が身に付いている。	3.1	3.0	3.1			
		教職員	学校は、個々の実態に合わせた、児童の学力の定着や向上に努めている。 (月末テストへの取組、活用力が求められる学習課題の設定等)	3.4	3.2	3.1			
	②	児童	あなたは、宿題や自主勉強などに、進んで取り組んでいますか。	3.5	3.3	3.5	○ 定期的に家庭学習への取り組み方を話すことで、子供たちの意識を高めている。特に自主学習については、内容や取り組み方を具体的に話すことで充実した学習に結び付くこともあった。学びの楽しさを味わうことも大事だと思う。親子で取り組める課題を提示することも考えていきたい。	A ・ B ・ C	2.3(前期) 2.4(後期) ・家庭学習、しつけなど、それぞれの家庭で考え方や状況が違うと思うが、継続して指導してもらいたい。 ・児童と保護者の意識レベルの違いが大きい。
		保護者	お子さんは、進んで家庭学習をしている。	2.8	2.7	2.8			
		教職員	五十崎小の児童が、学年に応じた家庭学習の習慣が身に付くよう、支援や指導をしている。 (適切な課題設定、保護者の家庭学習の見届け、未提出者の支援等)	3.4	3.1	3.1			
	③	児童	あなたは、進んで読書をしていますか。	3.2	3.3	2.9	○ 学校では読書時間を確保しているので、読書量は安定している。しかし、学校だけでは身に付かない。読書が心身の健やかな成長に良い影響を与えることは分かっている。家庭読書の充実に向けて協力してほしい。「家族で一緒に読む時間を作る」「読み聞かせをする」「テレビや携帯を10分間やめて読書をする」など、本の世界に浸る時間を意図的に作り、読む習慣を身に付けさせてほしい。我が子がどんな本を選んで読んでいるのか興味を持って関わっていただきたい。	A ・ B ・ C	2.2(前期) 2.0(後期) ・共生館の図書館利用がコロナ禍以降激減しているので、利用してもらいたい。 ・家庭での読書環境が大事。タブレットの活用が多くなっている反面、読むことが少なくなってきた。 ・活字離れが気になる。新聞を読ませたい。 ・読書は想像力を豊かにすることにつながるのので、もっと読書をして、新しい世界の扉を開いてほしい。 ・読書の習慣付けは難しいが、いろいろなジャンルの本があることを知り、興味を持ってほしい。
		保護者	お子さんは、進んで読書をしている。	2.4	2.4	2.7			
		教職員	五十崎小の児童が、進んで読書活動ができるよう、図書の提示や場の設定を行っている。 (読書に触れる学習の場の設定、朝読書、国語科の関連図書読み広げ等)	3.0	3.3	2.9			

2	豊かな心（生徒指導）	①	児 童	あなたは、毎日、楽しく学校に通っていますか。	3.7	3.7	3.7	○ 多くの児童が学校を楽しんでいると感じている。また、保護者も学校が安心安全な場所であると認識していただいていると思う。これから人権意識を高めたり、もっと良い雰囲気の学級・学校を目指していきたい。 ○ 定期的にアンケートを実施し、教育相談を行っている。前期に大きな事案や不登校等もなかった。ただ、悩みを抱えている児童もいると思うので、学級担任だけではなく、いろいろな先生と教育相談できる体制も整えていきたい。	A . B . C	2. 8(前期) 2. 6(後期) ・学校運営、地域との連携、保護者との取組等、うまく果たされていると感じる。一番大事なことは、子供たちが楽しく学校生活を送れることです。 ・小規模校の長所を生かして、地域の人で温かく見守り、幸せで楽しかったと思える子供時代を過ごしてほしい。
			保護者	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	3.6	3.6	3.5			
			教職員	五十崎小の児童が、明るく元気に学校生活を送ることができるよう、手立てを講じている。(日課や行事の無理のない計画、教育相談の実施、個々の特性を踏まえた学級経営等)	3.5	3.4	3.5			
		②	児 童	あなたは、みんなはと仲よくできていると思いますか。	3.6	3.6	3.6	○ 縦割り班での遊びや清掃を通して高学年が低学年の世話をしている場面をよく見かけた。また、男女や学年に関係なく全体的に仲が良い雰囲気である。スマイル大作戦や声掛けを通して、上学年の児童への価値付けを継続していきたい。 ○ 角が立つような発言をしたり、喧嘩をしたりする場面もある。できるだけ早期の解決を目指していきたい。 ○ 学級で友達に「ありがとう」と言えることを賞賛している。友達友達同士の関わり方が優しくなっているように感じる。	A . B . C	2. 8(前期) 2. 7(後期) ・遠くから見守っていると、悪いことに気付く、直すことができる児童の姿が見られます。指導の成果だと感じる。
			保護者	お子さんは、友だちを大切に、仲よくしている。	3.6	3.5	3.6			
			教職員	五十崎小の児童が、善悪の判断ができ、思いやりのある行動がとれるよう手立てを講じている。(異学年交流、学級の仲間づくり、人権・同和教育の実践、生命を尊重する態度等)	3.6	3.3	3.6			
		③	児 童	あなたは、あいさつや返事が、進んでできていますか。	3.7	3.7	3.6	○ 朝の挨拶は、個人差はあるが、概ね気持ちのいい挨拶ができています。地域の方からも「良い挨拶がうれしい。」との声を聞くこともある。休日でも、横断歩道で止まってもらった車にお礼を言うなど、校外での挨拶や態度も良いのではないかと感じる。家族内での挨拶については、学校が子供の様子を十分把握できていないところもある。	A . B . C	2. 8(前期) 2. 9(後期) ・朝から子供同士が挨拶する様子を見て、うれしい気持ちになった。 ・挨拶がしっかりできるのは、他の校区と比較しても誇りにしていけるくらい素晴らしい。 ・中学、高校と成長するにつれ、挨拶しなくなるのは残念。
			保護者	お子さんは、あいさつや返事が進んでできています。	3.1	3.2	3.1			
			教職員	五十崎小の児童が、基本的な生活習慣が身に付くよう、支援や声掛けをしている。(気持ちのいい挨拶・返事、履物の整理、時間順守、早寝早起き朝ご飯等)	3.6	3.5	3.5			
		④	児 童	あなたは、進んでお手伝いや仕事をしていますか。	3.5	3.4	3.4	○ 委員会や給食当番、掃除など、テキパキ動く雰囲気があり、積極的に取り組んでいる児童がほとんどである。進んで取り組む姿勢を家庭でも勧めていきたい。 ○ 生活リズム調査でお手伝いについてのめあてを書くことで、意識を向上を図りたい。 ○ 道徳科や学級活動等を通じて、家庭の一員として行動する大切さを考えさせたり、価値付けをしていきたい。	A . B . C	2. 2(前期) 2. 4(後期)
			保護者	お子さんは、進んでお手伝いや仕事をしています。	2.8	2.8	2.9			
			教職員	五十崎小の児童が、委員会活動や給食当番、係活動等に積極的に取り組めるよう、工夫や改善をしている。(自治的活動の支援、より良い仲間づくりを意識した企画・運営等)	3.0	3.5	3.4			

3	健康・安全 教育と管理	①	児 童	あなたは、進んで、遊んだり運動したりしていますか。	3.5	3.5	3.5	○ 各学級で学級遊びの日を設け、積極的に外遊びを行っている。高学年もよく遊んでいるので、良い雰囲気であると感じる。また、雨天時も体育館で体を動かして遊ぶ様子も多く見かける。 学級内で「外で遊べるときは、タブレットを使わないでおこう」という声も上がったため、その声を広げ、外で遊ぶことを推奨することができた。 陸上、水泳等も終わり、日常的に運動に親しむ機会がなくなったのも事実であると思う。2月には持久走大会を計画している。それに向けた体力向上のための家庭での取組を啓発し、自ら運動に取り組もうとする態度を育てたい。	A ・ B ・ C	2. 6(前期) 2. 5(後期) ・水泳は、根本的な教育である。プールも改修され環境も整ったので、健康増進に取り組んでほしい。 ・水泳・陸上等の練習において、担当の先生方の負担は大きいと思うが、運動する機会を与えていただき有り難い。 ・外で遊んでいる子供をほとんど見かけない。
			保護者	お子さんは、進んで遊んだり運動をしたりして体力づくりをしている。	2.9	3.2	3.1			
			教職員	五十崎小の児童が、進んで遊んだり運動をしたりして、体力増進に努められるよう支援や声掛けをしている。(休憩時間の確保、体力作りの習慣化を目指した支援等)	3.2	3.3	3.0			
		②	児 童	あなたは、安全に気を付けて、行動できていますか。	3.7	3.7	3.6	○ 今年度の避難訓練は、予告なしで始業前に実施したり、地域の方に不審者役をしていただくなど、より実践的に形で取り組んできた。今後も、災害時の引き渡し訓練や不審者対応訓練等、実際の災害避難時を想定した児童や職員の動線を見直し、より安全性の高い行動がとれるよう改善を行っていきたい。	A ・ B ・ C	2. 8(前期) 2. 6(後期) ・低学年だけで下校するときに、少し危険な行動が見受けられた。地域・保護者も一体となって子供たちを見守ってほしい。
			保護者	教職員は、子どもの安全指導や安全対策に努めている。	3.6	3.5	3.5			
			教職員	学校は、学習の場にふさわしい環境の整備に努め、安全・安心な学校生活の実現に向けて努力している。(感染症対策、学習の過程を重視した掲示物、協調・協働した学習の場の設定等)	3.1	3.5	3.3			
		③	児 童	あなたは、「早寝・早起き・朝ご飯」はできていますか。	3.6	3.5	3.4	○ 生活リズムチェックを毎月一週間実施し、自分の生活リズムと家庭学習について見直す機会を持っている。この一週間は、特に意識して生活している児童も見られる。親子で意識してバランスのとれた朝食づくりをがんばっているという声も届いている。保護者の協力を得ながら今後も学校で折に触れ指導・啓発をしていきたい。	A ・ B ・ C	2. 2(前期) 2. 1(後期) ・給食がしんどい児童への配慮をお願いしたい。
			保護者	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	3.1	3.2	3.2			
			教職員	五十崎小の児童は、衣食住に関する基本的な生活習慣が身に付いている。(早寝・早起き・朝ご飯の習慣、時間を守った生活、家庭学習の習慣等)	3.2	3.0	3.2			

4	家庭・地域との連携	①	児童	あなたは、困ったときに、先生に相談できますか。	3.2	3.3	3.2	○ いじめ等の問題はないが、心配な児童への対応は、全教職員が一丸となって取り組んでいく必要があると感じる。必要であれば生徒指導主事が中心となり、小委員会を開くなどして、問題の未然防止、早期発見・解決に努めていきたい。 毎月の生活アンケートや教育相談を通じて、子供たちの状況を知ることができた。ささいなことであっても、子供の勘違いであったり、すれ違いであったりするなど、お互い話し合うことで納得することができた。問題が大きくなる前に対応することが大切だと感じた。	A ・ B ・ C	2. 7(前期) 2. 7(後期)
			保護者	教職員は、子どもや家庭からの相談に適切に対応している。	3.5	3.4	3.5			
			教職員	学校は、いじめ・不登校・問題行動等の防止に、全教職員の共通理解の下、組織的に取り組んでいる。(いじめを許さない徹底した態度の育成、連続欠席を防ぐ対策、善悪の判断等)	3.1	3.8	3.5			
		②	児童	あなたは、登下校の時など、家族や地域の人に、見守られていると感じますか。	3.5	3.6	3.6	○ PTAによる毎月の街頭指導や駐在所連絡協議会パトロールの下校指導等、見守り活動に協力してくださる地域の方が多くいて安全に登下校できていて、大変有り難い。 ○ 週1回の1年生だけの下校では、不安も多いので、見守り活動で地域の方にお手伝いしていただけるよう、啓発していきたい。	A ・ B ・ C	2. 5(前期) 2. 4(後期) ・集団登下校の意義を家庭でもう一度見直してもらいたい。 ・登下校は、班長さんが気を配りながら1列で歩いていて良い。 ・寄り道をする低学年の児童を時々見掛ける。 ・学校も児童のために地域に要望をどんどん言ってほしい。 ・教育活動・地域連携に関して、保護者の温度差を感じる。保護者も育ってきた環境が違うので、どこまで介入していいかが難しい。 ・町内の本屋が閉店し、本を買い与えることが減少するので、少し心配。
			保護者	教職員は、保護者や地域との連携・協力を努めている。	3.5	3.4	3.4			
			教職員	学校は、保護者や地域と連携・協力して教育活動にあたり、学校の情報をわかりやすく保護者や地域に伝えようとしている。(コミスクの取組、学年通信・校報、学校行事、児童支援のための連絡等)	3.4	3.5	3.5			